

戸頭町会

「若い世代の町会加入促進」

戸頭町会市政協力員 1 大関 幸作

戸頭町会市政協力員 2 小笠原祥二郎

目次

1. 戸頭町会の概要

(1) 戸頭地区の構成

(2) 戸頭町会の構成

(3) 戸頭町会の組織と運営

2. 若い世代の町会加入促進

(1) 導入の経緯

(2) 施策と効果

(3) 導入の反省点と今後の課題

1. 戸頭町会の概要

(1) 戸頭地区の構成

旧戸頭地区 + 住宅公団（昭和50年頃開発） 開発地域

[戸頭団地（戸頭団地自治会）
戸建て住宅（戸頭町会）]

(2) 戸頭町会の構成

1) 昭和51年4月に戸建て居住者が設立

2) 地域 縦横 2 km(約4km²)

3) 3361世帯：7029人 町会加入率34.2%

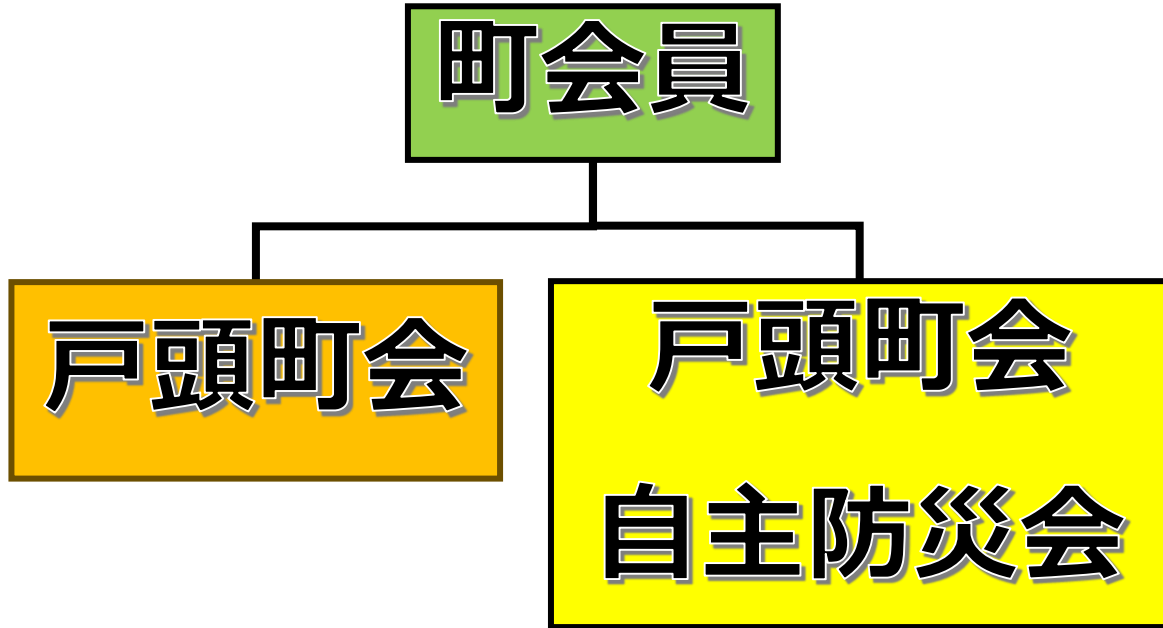
高齢化率 40.5%

戸頭町会マップ



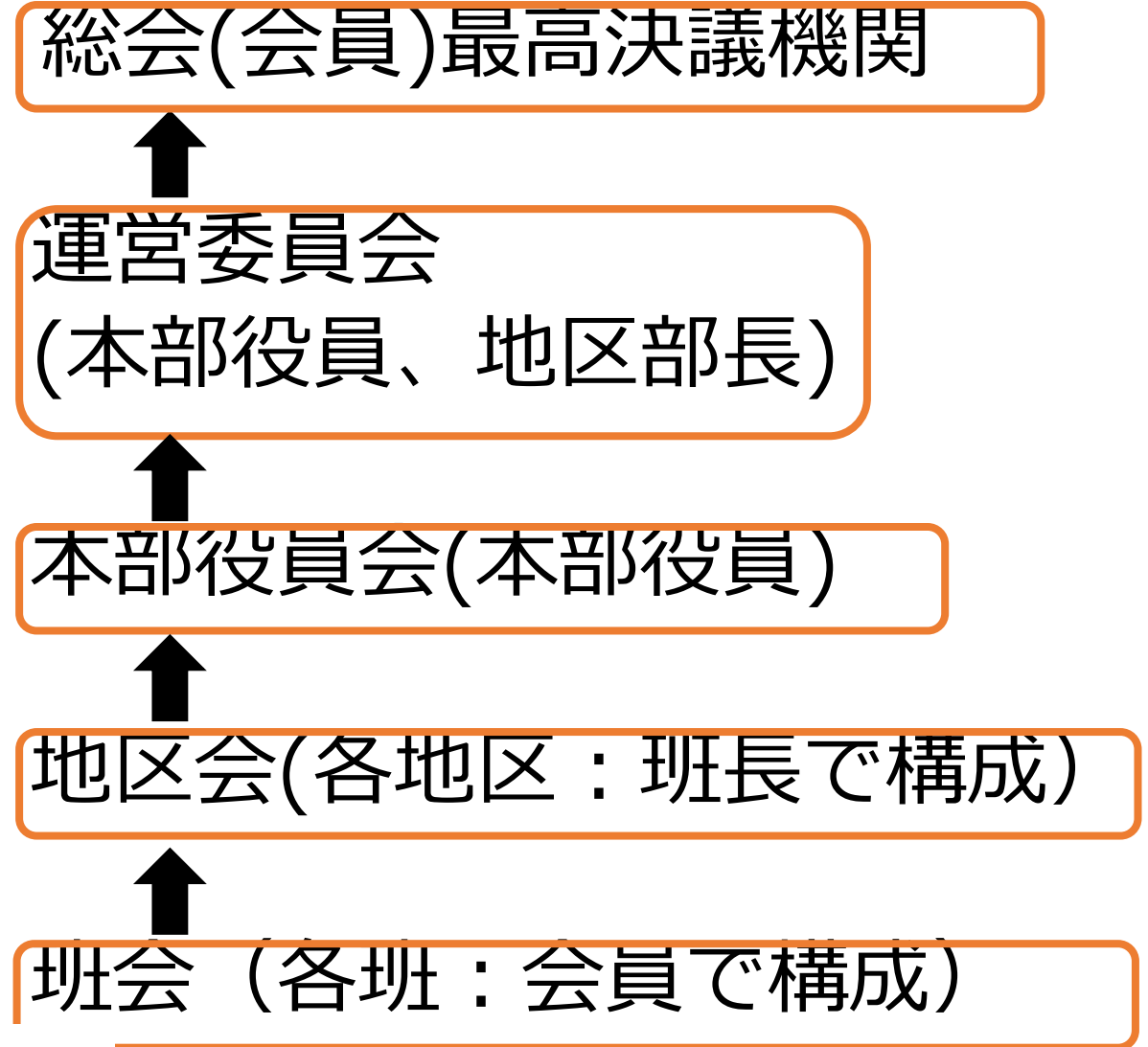
(3) 戸頭町会の組織と運営

1) 組織(つながり)

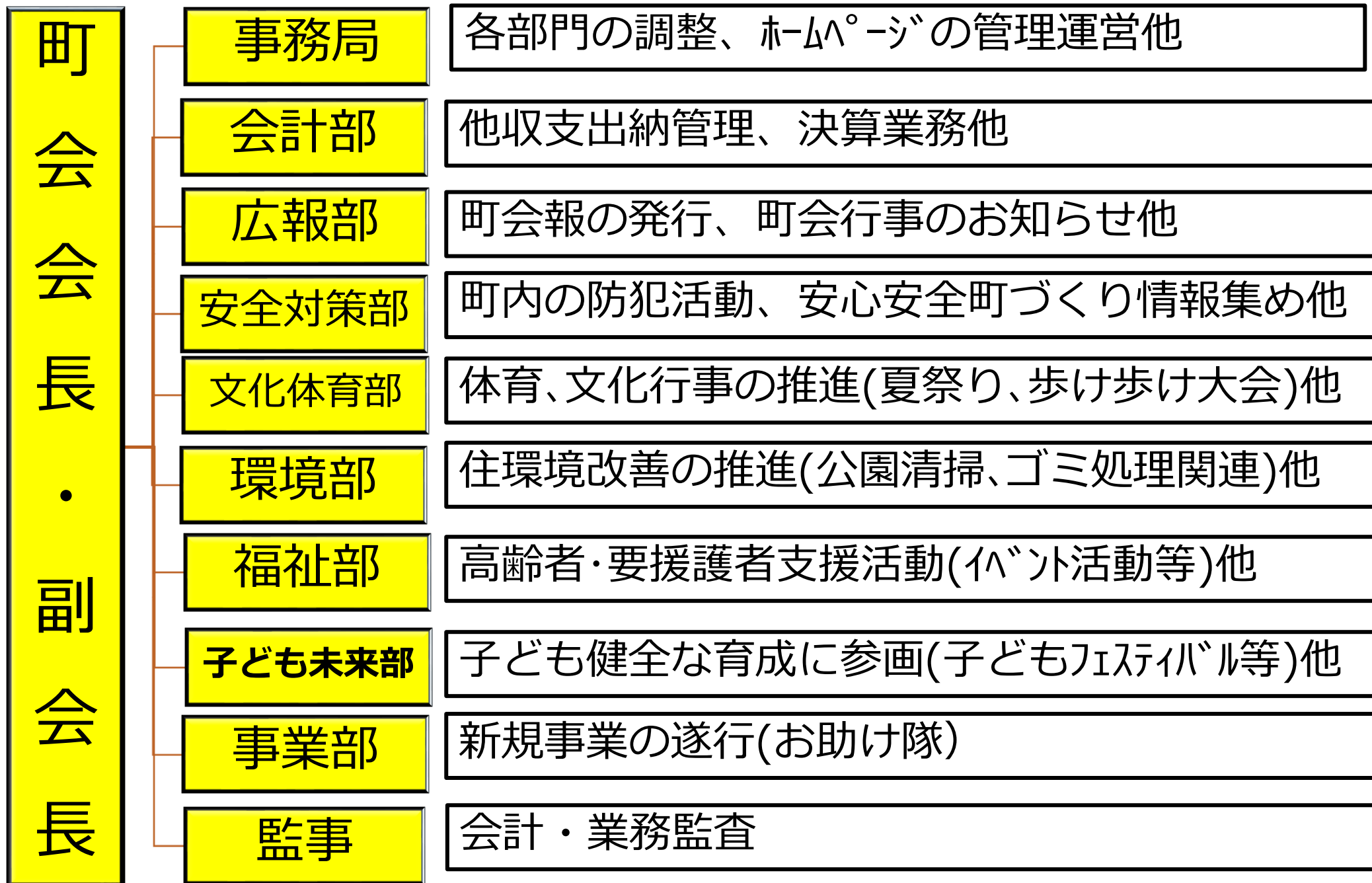


- ① 市政協力員
- ② 廃棄物資源減量推進員

2) 運営 (決議の流れ)



3) 組織



4) 町会組織と自主防災組織の関係



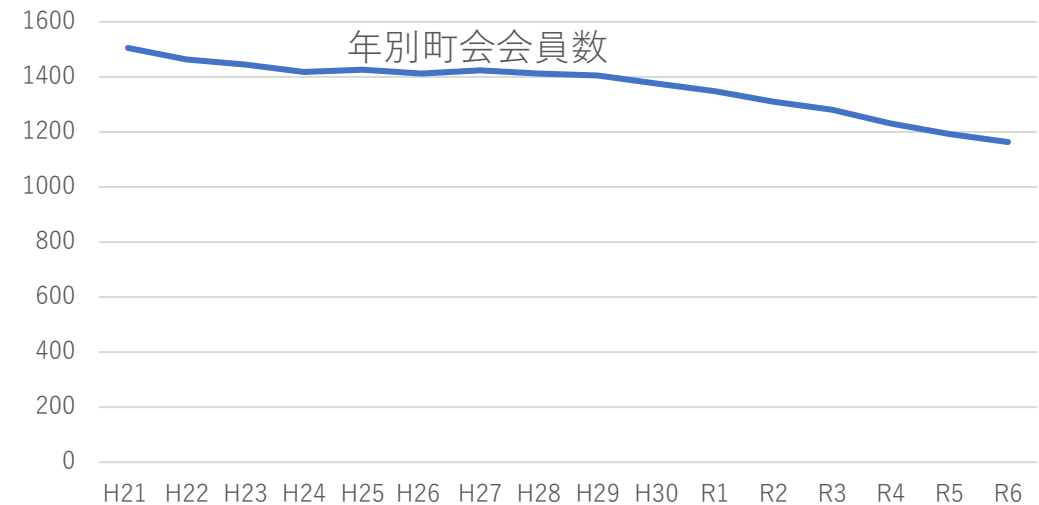
2. 若い世代の町会加入促進

(1) 導入の経緯

1) 会員数の推移

会員世帯数がほぼ毎年減少、特に、令和元年～6年の6年間で227世帯が減少（37.8世帯／年）

年度	町会会員数	減少数
H21	1506	0
H25	1427	79
H30	1377	55
R1	1349	28
R2	1310	39
R3	1281	29
R4	1231	50
R5	1193	38
R6	1150	43



2) 原因分析

- ① 高齢化による退会者の増加・町会の役目を果たせない。
- ② 若年層の入会減少・若者が町から出て行き戻ってこない。
- ③ 全てが多様化で町会にメリット感なし。

↳ **魅力ある町会への変革が急務**

3) 提案

- ① 高齢者+若者世代対応
 - ② 運営に発想転換必要
- } 活動のマンネリ打破
役員の若返り

本部役員の80歳定年制の導入し役員の若返り化

4) 新体制【役員の若返り化】へのスタート

- ① 令和3年11月 本部役員会で審議、可決承認
- ② 令和3年12月 運営委員会で審議、
総会に上程を可決承認
- ③ 令和4年4月17日の書面総会で承認
- ④ 令和4年4月17日より新体制がスタート

**会長：82歳 ↔ 52歳、副会長3名：80歳代 ↔ 70歳代
専門部長：30歳代～70歳代に若返り。**



若い世代の町会加入促進に取り組みスタート

(2) 施策と効果

1) 若者向けにホームページの活用推進。

<方針>

- ① 若い世代は紙面よりスマホ、タブレット情報。
- ② 高齢者は紙面：町会報

<推進方策>

若い世代を取り込む施策を実施。同時に高齢者向けに改善

- ① スマホ対応とする。
- ② 簡単な操作できるように見出し項目(太字)を増やす。

- I. 「令和7年度活動方針」
- II. 「お知らせ」 ・ 行事開催、町会活動のお知らせ
- III. 「町の声」 ・ 会員の要望、対応・結果
- IV. 「組織と運営」 ・ 専門部、地区部長、班長の業務
- V. 「年間行事」 ・ 各行事の日程・実施結果
- VI. 「町会活動」 ・ 運営委員会、本部役員会報告
- VII. 「町会報」 ・ 発行月別町会報
- VIII. 「お助け隊」 ・ お助け隊実績
- IX. 「各種届出,規約等」 ・ 指針、要領書を含む
- X. 「集会所予約状況」 ・ 定期予約状況
- XI. 「お問い合わせ」 ・ 会員の声収集

<効果>

ホームページを更に活用すべきの声が拳がり関心が高まった。

(その他：事務の合理化を推進中)

① 8月にクラウドを導入

I. 簡単検索に改善

II. 外部からの資料作成、閲覧権限の拡大化・運用の改善

② 会議資料のペーパーレス化

2) 町会報（年10回発行）の改善

- ① 新年号はカラー刷り「町会方針記事掲載」
配布時期を変更、また非会員含めた**全戸配布**。
- ② 記事はより町の話題を中心に方向を変更。

<効果>

- ① カラー刷りはインパクトありの声を頂いた。
- ② 非会員に「戸頭町会」存在を周知できた。

<今後>

- ① カラー刷りは3回（6月、9月、1月）発行。
- ② 地域繋がりに記事を拡大。

3) 子育て世代対象に新しくイベント開催

＜若い世代への浸透を促進＞

① 令和5年度 「干支スタンプラリー開催」

- ・ 小学3年生以下の子供達を対象に日本の文化の伝承、
戸頭を故郷と思う心の育成を目的



② 令和6年度 「第1回子どもフェスティバル」

- ・ 戸頭地域全体（戸頭町会・戸頭団地・旧戸頭）の小学3年生以下の子供達を対象
- ・ 約100名の子供達と保護者等230名が参加
- ・ マジックショー、水鉄砲、糸電話等12種ゲーム



ブルバックカーレース

太鼓の演奏体験

糸電話

マジックショー

③ 令和7年度 「第2回子どもフェステバル」

- ・ 戸頭中学校生徒会がゲームの企画から参加
イベント当日も11人の中学生やボランティア参加
- ・ 雨模様にも拘らず、90名の子供達と保護者等200名参加
中学生の感想「これまで町会を知る機会はなく活動にも参加出来なかった。子供と触合い昔遊びは楽しかった」
- ・ マジックショー、水鉄砲、糸電話等12種ゲーム



<効果>

- ・若い子育て世代及び中学生に関心を与えられた。
- ・会員以外の参加もあり、「戸頭町会」の名を広められた。

<今後>

- ・団地自治会や旧戸頭を含んだ地域全体を巻き込んだイベントにする。
- ・子育て世代を対象に多彩なイベントを開催する。

4) とがしら夏まつり

＜夏祭りが地域の行事であり、子どもたちに
ふるさとの思い出を残す。＞

＜将来、地域貢献への参画を期待＞

① 提灯新作し子供たちの名入れ

② 令和5年度、「夏まつりの思い出を伝えたい」と若者
が「金魚すくい」を出店。

③ 令和7年度から町民の要望により2日間開催、1日目
の夕方にカラオケを開催し17時から
30分間は子供達を対象。

＜効果＞

- ・ 幾分かの効果を感じられる。

＜今後＞

- ・ 継続予定。



5) 秋の歩け歩け大会

< 一般コースの他高齢者・幼児向け短距離コース設定 >



6) 新春餅つき大会

< 幼児に餅つきの楽しさを体験 >



7) 中学校防災教室

① 学校が主催、戸頭町会自主防災会も加盟している「戸頭地区自主防災連絡協議会」と戸頭消防署が後援

② **令和7年度は中学1年生に加えて戸頭小学校5年生を対象**

③ 傷病者手当、傷病者搬送等について実技訓練実施

<効果>

- ・ 子供達の防災意識高揚に役立った。



8) 退会者防止策

- ①班長免除条件の制定（指針）
- ②班統廃合の受け入れ（運営員会承認）
- ③高齢者クラブ「あすなる会」の発足（令和3年度）
 - ・グラウンドゴルフの実施（2回/週）
 - ・カラオケ会の実施（1回/月）
 - ・日帰りバス旅行の実施（11月頃/年）
 - ・スマホ学校実施（2回/月/受講生、現在4, 5期生）
- ④カラオケサロン(2回/月)(あすなる会とは別)
- ⑤オレンジカフェの推進（4回/年）
- ⑥「ボランティア制度の導入」
 - ・有償、無償に区分して適宜対応。

(3) 導入の反省点と今後の課題

1) 反省点

① 新役員の負担増

* 公募するも応募者無いため**一人で何役も兼任**

<原因> I. 町会の活動周知が不足。

II. 働き方の多様化で、75歳前後まで働く。

<対策> I. 町会活動の周知を強化。

II. 参加の多様化を推進。

(働き手の参加が容易な仕組み)

② **地域との交流が思っていたほど進まなかった。**

地域へ「呼びかけ」を周知できず、活動の活性化に繋がらなかった。

<原因> I. 行事参加への門戸開放が進まなかった。

II. 人手、工数不足で準備不足であった。

* 部門に集中しすぎ。

<対策> I. 町会行事の門戸開放、地域へ参加呼びかけ。

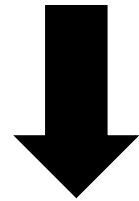
II. 町会から地域への参加で交流を推進。

III. 学校PTAとの交流。

IV. 情報共有、町会報、ホームページの活用による地域情報の提供

2) 今後の課題

- ① 運営に必要な若い人材をいかに確保するか。
多方面から見た町会運営が必要であり、特に**女性役員**の登用が急務である。
- ② より開かれた町会をどのように構築するか。



より安全安心な町、より住みよい町、よき故郷と思える町を目指して「戸頭町会」を発展させる。

ご清聴

ありがとうございました。